

文学部A方式 I 日程・経営学部A方式 I 日程・人間環境学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～38	世 界 史	40～59
地 理	60～69	数 学	70～75		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

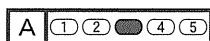
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

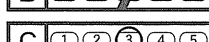
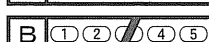
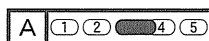
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

現代は投機目的で仮想通貨が売買されるような時代になっているが、貨幣は本来、経済取引における決済(支払)手段、モノの価値を測る尺度、価値の貯蔵などが主な機能であった。そのような貨幣の歴史は古い。世界最古の都市文明を開かせたメソポタミアでは、早くから銀が支払手段として使用されていたが、それはまだ金属の重さを量って交換価値を決める秤量貨幣であった。だが、前1千年紀の著しい交易の発展に伴い、鑄造貨幣が出現する。前7世紀半ばにアナトリア南西部のリディア王国が、金銀の自然合金エレクトロンを円形に鑄造して刻印したものが世界最古とされるが、貨幣鑄造はすぐにアナトリア西岸のイオニア系ギリシア諸市を経てギリシアの諸ポリスに、さらにギリシア人が各地に建設した植民市に広がった。エレクトロンを産しないギリシアでは銀貨が本位貨幣となり、特に 銀山を擁するアテネが造った銀貨は、アテネの隆盛とともに全ギリシア世界に広く流通した。また前5世紀後半以降、小額の対内貨幣として青銅貨の鑄造も各地で始まった。これに対し、リディア王国を倒した王朝では、第三代の王が金貨と銀貨を鑄造させ、金貨鑄造は王の特権としたが、銀貨・銅貨の鑄造は西部諸州のサトラップやアナトリア西岸のギリシア諸市、フェニキア人諸都市などにも認められた。前4世紀後半にこの王朝を倒した人物もアテネの重量基準に基づく金貨・銀貨を鑄造させ、この幣制を継いだヘレニズム時代には、君主の像や名・称号を刻した貨幣がインドに至るまでの西アジア各地で造られた。

ローマでは前3世紀初頭から青銅貨と銀貨の鑄造が恒常化し、共和政期は銀貨本位であった。帝政期に入ると金貨が造られ金銀複本位制となったが、紀元3世紀の混乱の中、特に銀貨の価値は著しく低下した。そのため、この混乱を收拾したディオクレティアヌス・コンスタンティヌス両帝は通貨改革を行い、特に後者が創設した良質の 金貨は、西ローマ帝国滅亡後もビザンツ帝国の本位貨幣として維持された。この金貨は、カール大帝による銀貨を基礎とした貨幣制

度の確立以後、しだいに独自の金貨鑄造が行われなくなった西欧においても、13世紀まで広く流通して国際商取引に使用された。

ビザンツ貨幣と並んで中世ヨーロッパに流入したのは、イスラーム貨幣であった。ウマイヤ朝第5代カリフの C は、支配者の肖像なしでアラビア文字だけを刻印したイスラーム独自の金貨・銀貨を鑄造し、イスラーム世界の幣制の基礎を築いた。アッバース朝治下の9世紀中頃から西アフリカ産の金がイスラーム世界に広く出回るようになると、金銀複本位制が各地に根付いた。しかし10世紀中頃、金貨の純度の低下が始まる。10世紀初頭にイスマール派が北アフリカに建てた王朝は西アフリカ産の金でなお高品質の金貨を供給したが、12世紀末～13世紀には西アフリカ産の金はイタリアに吸収され、イスラーム世界における金貨供給は、13世紀半ばからエジプト・シリアを支配した王朝の前半には一時持ち直すものの、衰退していった。

他方、ヨーロッパでは十字軍と東方貿易の影響のもと、13世紀半ばに北イタリア諸市を中心に金貨鑄造が再開された。特にフィレンツェが鑄造した金貨は高品質で、後のヨーロッパ金貨の模範となった。イギリスやフランスでは、金貨鑄造の再開は、王による中央集権化の動きと関連していた。フランスでは、第6・7回十字軍を主導した D が金貨を発行したが、金貨鑄造が本格化するの、最初の三部会を召集したことで知られる王以降のことになる。イギリスの本格的な金貨鑄造は1344年、E 治下に始まった。一方で銀貨の鑄造も続き、従来のものより重い銀貨が鑄造された。特に1476年にドイツでハプスブルク家が鑄造させたターラー銀貨は、17～18世紀にヨーロッパ諸国で模倣され、「ドル」の名称の起源にもなった(ちなみに、ドルを表す記号「\$」は、B 金貨に由来する)。こうしてヨーロッパは金銀複本位制となったが、イギリスを皮切りに19世紀末までには各国が金本位制に移行した。

ヨーロッパやイスラーム世界が金銀貨中心であったのに対し、中国では春秋時代末期から戦国時代にかけて各地で青銅貨幣が使用され始めて以降、長期にわたり銅貨を基本通貨とした。秦は戦国末期から重量を記した円形方孔の銅銭を鑄造し始め、天下を統一した始皇帝は晩年にこの銅銭による貨幣の統一を図ったが、定着するまもなく秦は滅亡した。漢はこの銅銭を継承したが初期は重量が一定せ

世界史

ず、武帝が前119年に鑄造させた銅銭に至ってようやく安定した。これは唐代初期の開元通宝発行まで基本的銅銭として継承されていくが、貨幣経済自体はしだいに沈滞した。唐が780年に実施した税法は税の銭納を原則としたが、実際には^(カ)なお穀物や布で納入された。しかし唐末からの商工業の発達を受けて、宋代には貨幣経済が飛躍的に進展した。北宋では開元通宝を範とする大量の銅銭が鑄造されたが、なお通貨需要に追いつかなかった。一方で、低額で重量がかさむ銅銭は高額取引や長距離輸送には向かず、すでに唐代後半から送金手形が利用されていた。その流れを受けて、北宋では世界最古の紙幣とされる も発行され、南宋時代には銅銭不足から紙幣が盛んになった。銀を本位貨幣としていたモンゴル人は中国征服後、銀の補助通貨として紙幣を採用し、紙幣も元の主要な通貨となったが、元朝末期には紙幣が濫発され経済混乱を招いた。明の建国者はなお紙幣を通貨としたが、価値の下落で使用されなくなり、銀に代わられていく。ただし、中国では銀は秤量貨幣であり、円形銀貨が鑄造されることはなかった。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語を下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | |
|------------|-------------|
| 1 アブー＝バクル | 2 アブド＝アルマリク |
| 3 アリー | 4 エドワード1世 |
| 5 エドワード3世 | 6 ソリドゥス |
| 7 デイナー | 8 デルフィ |
| 9 ドラクマ | 10 フィリップ2世 |
| 11 フィリップ4世 | 12 ヘンリ3世 |
| 13 ポトシ | 14 ラウレイオン |
| 15 ルイ9世 | 16 会子 |
| 17 交子 | 18 交鈔 |

問2 下線部(1)について、前6世紀にこれらの諸市でギリシア哲学の基礎となる自然哲学がおこった。以下のa～dから、そのイオニア自然哲学との関連が最も薄い人物を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a タレス
- b ピタゴラス
- c プロタゴラス
- d ヘラクレイトス

問3 下線部(2)について、これにあてはまらない都市を以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a シラクサ
- b テイリンス
- c ネアポリス
- d マッサリア

問4 下線部(3)について、ヘレニズム時代の西アジアに関する記述として正しいものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ディアドコイ戦争の結果、西アジアの大部分を領有したのはアンティゴノス朝であった。
- b 前3世紀半ば、アム川上流域ではイラン系住民がバクトリア王国を建てた。
- c 前3世紀半ば、イラン系遊牧民の族長アルサケスが、イラン高原東北部にパルティア王国を建てた。
- d ヘレニズム文化の一大拠点となったのは、セレウコス朝の首都アレクサンドリアであった。

世界史

問5 下線部(4)について、紀元3世紀のローマ帝国に関する記述として間違っているものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 北方からはゲルマン人諸族が、東方からはササン朝ペルシアが帝国を圧迫した。
- b 帝国各地に駐留する軍隊に擁立された軍人皇帝たちがあい争う混乱期が、約50年間続いた。
- c ローマ市に大浴場を建造した皇帝が、帝国内の全自由民にローマ市民権を与えた。
- d 260年のエデッサの戦いでウァレリアヌス帝がアルダシール1世に敗れ、捕虜となった。

問6 以下のa～dのうち、下線部(5)の人物に関する記述として正しいものはいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- a 中央アジアから東部・中部ヨーロッパに進出していたマジャール人を攻撃した。
- b パリの宮廷にイングランド出身のアルクインなど、西欧各地から学者や聖職者を招き、古典文化の復興に努めた。
- c イタリア南部に建てられたランゴバルド王国を滅ぼした。
- d 800年にローマ教皇レオ1世から西ローマ皇帝の帝冠を授けられた。

問7 以下のa～dのうち、下線部(6)の王朝に関する記述として正しいものはいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- a ムハンマドの叔父アッバースの子孫が750年に開いた、スンナ派の王朝である。
- b 第2代カリフのマンスールは、ユーフラテス川中流に新都バクダードを建設した。
- c 第5代カリフのハールーン＝アッラシードの治世が最盛期であった。
- d 13世紀半ば、バトゥが率いるモンゴル軍によって滅ぼされた。

問8 下線部(7)について、戦国時代の楚で用いられた、貝を模した形状の青銅貨幣を以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 環銭 b 蟻鼻銭 c 飛銭 d 布銭

問9 下線部(ア)について、全盛期のアテネを指導し、古代民主政を完成させた人物の名前を、解答欄に記入せよ。

問10 下線部(イ)について、この王の名前を解答欄に記入せよ。

問11 下線部(ウ)について、この王朝名を解答欄に記入せよ。

問12 下線部(エ)について、この王朝名を解答欄に記入せよ。

問13 下線部(オ)について、この銅銭の名称を解答欄に記入せよ。

問14 下線部(カ)について、この税法の名称を解答欄に記入せよ。

世界史

〔Ⅱ〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

元の末期、白蓮教徒を中心とした反乱勢力の中から頭角を現した A は、群雄をおさえて a 年に応天(現在の南京)で明を樹立すると、同年すぐさま北伐軍をすすめ、大都(現在の北京)を占領し、モンゴル人勢力をモンゴル高原に追いやった。

A は、まず内政を充実させることに力を注ぎ、⁽¹⁾ 官僚機構や郷村の改革を行い、皇帝独裁の統治機構を確立させた。また、その改革は郷村の末端である農民まで及び、民衆教化のために「六諭」を發布し、儒教道徳を徹底させた。

しかし、いかに明初において皇帝独裁体制が確立されたと言っても、実際に皇帝が全ての職務をひとりで担うのは難しく、明代を通じて補佐官や宦官が信任される傾向が強まっていった。とくに宦官は、しだいに政治への関与を深めていき、^(a) チベット仏教に傾倒するなどして政治に興味を失った皇帝が現れると、皇帝に代わって政治の実権を握るようになり、権力をほしいままにする者すら現れるようになった。

A は、対外政策においては、まず北方からの侵攻に備えるため、皇子を諸王として分封し北方の守りを固めた。その中で有力だった b 王の朱⁽³⁾ 棣は後に永楽帝となり、北京を拠点に五回にわたるモンゴル遠征を行うと同時に、防備のため c の整備に着手した。15世紀以降、皇帝による遠征はほぼ行われなかったが、⁽⁴⁾ 北方からの度重なる攻撃や、16世紀末に辺境で起きた諸民族の反乱、朝鮮への支援軍派遣などは、国家財政を危機的状況に陥らせた。

対外貿易においては、A は、朝貢貿易を進めながら、海禁を断行して自由貿易を統制したが、これは明朝の基本姿勢として永楽帝以降も引き継がれた。しかし結果的には密貿易を横行させ、密貿易者が沿海部の地方官や郷紳と癒着するようにもなっていった。また、取り締まりに対抗して凶暴化する者も現れたため、⁽⁵⁾ 1567年には海禁を緩める措置として、福建省漳州の月港を開港することになった。

一方、密貿易が盛行した理由の一つとして、16世紀以降の商品経済のめざましい発展も注目される。江南を中心に商品作物の栽培や手工業が盛んになり、生産⁽⁶⁾

された商品の多くは密貿易によって海外に輸送された。また、商業都市を中心に銀の流通が広まり、万暦帝の時には張居正の施策も後押しとなって、租税と徭役を銀に換算して一本化する税制が普及した。国家財政が銀を基本とするようになると、銀を求めて海外貿易はますます活発化していった。

この頃、商品取引で活躍したのが、山西省や d 省出身の商人集団である。彼らは地の利を得て各地に進出し、全国の流通網を掌握して大きな財力と勢力を築いた。諸都市には同郷の商人が集う e が建設され、そこには立派な舞台が設けられ、商人は、故郷の劇団を招いて演劇を楽しんだり、パトロンとなって俳優を育成したりと、経済活動だけでなく、文化・芸能の繁栄を支える大きな受け皿にもなった。

経済の発展は、庶民文化にも活況をもたらした。例えば、戯曲や小説の作品が爆発的に出版されるようになったのも、16世紀に入ってからである。庶民である商人は、もちろんこの娯楽の享受者であり、文学者のパトロンであり、また物語の題材としても描かれるなど、密接な関わりを持った。その他に、とくに注目し値するのが、当時の知識人も、戯曲や小説を積極的に享受し、作品の創作や出版に深く関与していたことである。

従来の儒教の価値観では、戯曲や小説などの庶民の文学は、正統ではなく、軽蔑の対象ですらあった。ところが、当時の知識人たちの間に、このような伝統的な価値観に対する変化や自由な気風が生まれたのは、f が唱えた陽明学や、その学説を発展させた g による思想的な後ろ盾があったからだと考えられている。g は、「童心」(偽りのない真心)を重視し、道徳や知識によって、その「童心」は奪われてしまうと考え、儒教の強固な伝統全体に批判的な姿勢を示した。そして、戯曲や小説を、人間が本来もっている偽りのない真心を^(c)発露させたものであると高く評価し、その地位の向上に大きな影響を与えたのだった。

経済や庶民文化が活況を呈する一方で、政治腐敗が蔓延し、改革を訴える派閥⁽⁷⁾による政治運動が起り、それに共鳴する民衆や、搾取に疲弊した農民たちによる反乱も各地で勃発し、政情は混迷を極めていった。

そのような中で、北方の女真が成長を続け、大きな統一勢力となっていた。やがて滅亡を迎える明に代わり、彼らが新たに中国を支配することになるのである。

世界史

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|---------|
| 1 安徽 | 2 燕 | 3 王重陽 | 4 王守仁 | 5 欧陽脩 |
| 6 会館 | 7 徽州 | 8 公館 | 9 顧炎武 | 10 故宮 |
| 11 朱熹 | 12 城郭 | 13 商館 | 14 新安 | 15 趙 |
| 16 長城 | 17 李贄 | 18 魯 | 19 1368 | 20 1351 |

問2 下線部(1)について、空欄 に入る皇帝の治世に定められた統治機構に関する記述として間違っているものを、以下の a～e から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 唐の府兵制を模範に衛所制をつくり、衛所の兵役は軍戸が負担した。
- b 中書省を廃止し、それまで中書省が管轄していた六部を皇帝直属にした。
- c 里甲制を定め、里長、甲首は1年交代で租税徴収や治安維持などにあたった。
- d 農民などから成る民戸は、戸籍・租税の台帳となった賦役黄冊に記載された。
- e 土地台帳である魚鱗図冊を作成し、里長、甲首に10年ごとに作り直させた。

問3 下線部(2)について、「六論」に含まれないものを、以下の a～e から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| a 和睦郷里 | b 各安生理 | c 毋作非為 |
| d 兼愛非攻 | e 孝順父母 | |

問4 下線部(3)について、朱棣(永楽帝)に関する記述として間違っているものを、以下のa～eから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 新しい宮城として、紫禁城を造営した。
- b 甥の建文帝に反旗をひるがえし、北京を占領して帝位についた。
- c 内閣を組織し、翰林院から才能のあるものを選んで補佐役とした。
- d 四書五経の注釈書である『四書大全』『五経大全』の編纂を命じた。
- e 宦官を重用したが、南海遠征を命じた鄭和もそのうちの一人である。

問5 下線部(4)について、15世紀以降のモンゴル勢力に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a オイラトのエセンによる侵攻を受け、正統帝は明軍を率いて親征したが、土木堡で捕らえられた。
- b タタールのダヤン=ハンは、チベット仏教を信仰し、ゲルク派の高僧にダライ=ラマの称号を贈った。
- c オイラトのアルタン=ハンは、タタールと抗争してモンゴル勢力を統合し、オイラトの全盛時代を築いた。
- d タタールのアルタン=ハンは、明との交易を求めたが、明が応じないため、長年にわたり辺境に侵攻し、一時は南京を包囲した。

問6 下線部(5)について、この頃に海禁を緩める措置がとられた背景に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 日本人を主体とする海賊集団が略奪を繰り返した。
- b 倭寇の頭目であった王直が率いる密貿易集団が略奪を繰り返した。
- c 台湾を拠点に私貿易で富を築いた鄭成功父子による暴動が起きた。
- d 海関を設けて徴税したため、中国人を主体とする海賊集団による暴動が起きた。

世界史

問7 下線部(6)について、明代の商品作物や手工業に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 江南の諸都市では商取引だけでなく手工業も盛んに行われたが、とくに蘇州は絹織物の一大産地として大いに繁栄した。
- b 重要な輸出品であった陶磁器の装飾技術が発展し、従来の赤絵から、染付といわれる華麗な彩色を施した陶磁器の生産が増えた。
- c 広西省の景德鎮は、古来、陶磁器の生産地として有名であったが、明代には政府直営の工場が建てられ、中国随一の窯業都市として繁栄した。
- d 湖南省や広東省を中心とする長江中流域の開発が進むと、下流域に代わり穀倉地帯として発展し、「湖広熟すれば天下足る」という言葉が生まれた。

問8 下線部(7)について、明代後期の政治運動に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 東林書院は、内閣大学士の魏忠賢による大弾圧を受けて閉鎖された。
- b 顧憲成の死により政争が落ち着くと、翌年には魏忠賢も失脚し自殺した。
- c 東林書院は、かつて六朝時代に在野の賢人たちが清談を行った場所だった。
- d 万曆帝の時に免職された顧憲成は、郷里の江蘇省無錫に東林書院を再興した。

問9 文中の空欄

A

 に入る最も適切な人名を、解答欄に記入せよ。

問10 下線部(a)について、14世紀にチベット仏教の改革を進め、ゲルク派を創設した人物は誰か。その人名を解答欄に記入せよ。

問11 下線部(b)について、この税制を何と呼ぶか。その名称を解答欄に記入せよ。

問12 下線部(c)について、北宋末期に梁山泊に集った義士達が権力に立ち向かう武勇を描いた小説が「古今の至文」と高く評価されたが、この小説は何か。その作品名を解答欄に記入せよ。

世界史

〔Ⅲ〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

第2次世界大戦は、1939年9月ドイツが に侵攻して始まり、1945年5月ドイツが連合軍に無条件降伏してヨーロッパでの戦闘が終わった。この戦争にはヨーロッパの多数の国が参戦し、そして甚大な戦禍を被った。戦死者は数千万人とも言われ、戦場になった国では工業設備や生活基盤が大量に破壊された。そのため、戦後の再建復興も困難を極めた。しかも、占領政策において米ソの対立が明確になり、ソ連が占領地域の社会主義化を強行したため、米ソ間で占領政策は調整が難航した。

敗戦国ドイツに対する戦勝国の占領政策は、当初はドイツの工業国としての復興を認めず農業国の状態にとどめるなど、過酷な内容を含んでいた。しかもドイツ政府の存在を認めず、戦勝4カ国がドイツを分割占領し、首都ベルリンもこれら4カ国によって分割占領され、各自の占領地区を4カ国が統治するものであった。⁽¹⁾ 米ソの対立が激しくなるにつれて、ドイツの占領政策もその影響を受けた。アメリカは、1948年からヨーロッパの共産主義化防止を目的に と呼ばれる経済援助を実施し、西欧諸国はこれを受け入れるために を設けた。西側3カ国の占領地区は統合され、東側のソ連占領地区から分離した占領となっていく。この西側3カ国の占領地区では、1948年6月、経済再建に不可欠の を実施し、これに対抗してソ連占領地区でも同様の措置を後追いで実施した。しかし、両地区の通貨は、市場で西側の新通貨ドイツ・マルクの方が東側の新通貨マルクよりも高く評価され、ソ連は東側と西側との経済取引を遮断せざるをえず、 を実施した。このソ連の強硬措置に西側3カ国は対抗し、大量の生活物資を空輸した。この西側の行動によって、ソ連側も を続ける意味を失い、翌年5月に解除した。

1949年には、西側の占領地区にドイツ連邦共和国(西ドイツ)が、東側の占領地区にドイツ民主共和国(東ドイツ)がそれぞれ建国され、ドイツは2カ国に分裂した。東ドイツに位置するベルリンも東西ベルリンに分断された。また、ポツダム協定における暫定的な決定に従って、ドイツとポーランドとの間に新たに国境が⁽²⁾設定されたが、この国境線に対する対応も東西両ドイツでは異なっていた。

西側陣営では、イギリス・フランス・ベネルクス3国が1948年に [(4)] を結び、1949年にはアメリカやカナダなどが参加して集団安全保障体制としての [b] を発足させた。また、産業や市場を統合する経済統合の歩みも始まった。西ドイツは、これら西側陣営の組織との結びつきを強めていった。1954年には [(5)] を結んで主権回復を認められると、 [b] にも1955年に加盟した。1956年には、徴兵制を施行して再軍備を断行している。西ドイツは、経済面だけでなく安全保障面でも西側との強い結びつきのもと、1960年代にかけて「経済の奇跡」と呼ばれた高度経済成長を達成した。

これに対し、ソ連と東ドイツをはじめとする東ヨーロッパ諸国は、すでに1949年に [c] を設立して経済的結びつきを強め、さらに安全保障体制としては1955年に [b] に対抗して [d] を結成した。しかし、社会主義体制の建設には大きな困難が付きまとった。東ドイツでは、1953年にベルリンで労働者の不満から発生した暴動が全国に波及し、駐留ソ連軍が出動してようやく鎮圧する事件があった。その後も東ドイツの労働者の西側への流出は止まず、東ドイツ政府は、1961年に東西ベルリン間に壁を建設して、東西ドイツ間の移動を完全に遮断する措置に出た。東欧諸国での民主化要求は、1956年の [(6)] や、ハンガリー事件、1968年のプラハの春というように何度も繰り返され、そのつど厳しく弾圧された。

とはいえ、東西の両陣営が常に極度の緊張状態の下に対立を続けたのではなく、冷戦の状況にも時代とともに変化があった。1953年、ソ連の指導者であった [B] が死去すると、両陣営の間に対話と共存への模索が始まり、一定の成果を上げた。1955年にはジュネーブで四巨頭会談が行われたのを皮切りに、ソ連の新指導者フルシチョフはモスクワ会談を行って西ドイツとの国交を樹立したほか、1956年にはコミンフォルムを解散した。上述のベルリンの壁の建設や、ソ連のミサイルの国外配備をめぐるキューバ危機など緊張が高まった時期もあったが、1970年代には「緊張緩和」の雰囲気が広がった。西ドイツの [ア] 首相は、ソ連と武力不行使協定を結んだ。1973年には東西ドイツが国際連合に同時加盟を果たした。安全保障体制としても、1975年には [b] や [d] の加盟国等が参加して、 [e] が発足した。その最終合意文書であるヘルシンキ宣言

世界史

は、東西対話の努力の頂点の一つをなすものであった。

1960年代末から、世界経済は激動期を経験する。それは、欧州共同体(E C)をはじめとする西ヨーロッパ各国にとっても困難な時期であった。まず、頻発する⁽⁴⁾ドル危機と国際通貨制度の動揺である。E Cは外国為替レート安定に努め、通貨統合の構想を打ち出した。そして1973年に発生した第1次石油危機とそのほぼ⁽⁵⁾5年後に再発した第2次石油危機は石油価格を高騰させ、西側の主要国の経済を大混乱に陥れた。

さらに1980年代に入ると、ソ連そして東欧諸国も経済的に行き詰まり、市場経済の導入を図らねばならなかった。1985年からソ連の書記長に就任した⁽⁶⁾イはペレストロイカを試みたが、この困難を克服できず、民主化の機運が高まった。ソ連のこの動きは、⁽⁷⁾東欧諸国で改革や民主化を求める運動を活発にさせた。ソ連と東欧諸国でこれらの改革が試みられる過程で、C 11月、東西ドイツを分断してきたベルリンの壁がついに崩壊し、そして同年12月、⁽⁸⁾米ソ首脳によるマルタ会談で東西冷戦の終結が宣言された。D 10月、ウ 西ドイツ首相のもとで東西両ドイツの統一が達成され、E 12月にはソ連も解体した。

このような激動の過程をたどって、ヨーロッパでの東西冷戦は終結した。しかしそれは、すぐさま平和な新しい時代を迎えることにはならず、今日、市場経済化の行き過ぎや、その反動として各国内でのナショナリズムの高まり等の問題が強まり、ヨーロッパ諸国はそれらの解決を迫られている。

問1 文中の空欄 に当てはまる国名を解答欄に記入せよ。

問2 下線部(1)の戦勝4カ国にはアメリカとソ連が含まれるが、残りの2カ国を以下の国名群から選び、該当する二つの数字を解答欄にマークせよ。

〔国名群〕

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 イギリス | 2 オーストリア | 3 カナダ |
| 4 スイス | 5 スウェーデン | 6 ノルウェー |
| 7 フィンランド | 8 フランス | 9 ベルギー |
| 10 ポーランド | | |

問3 文中の空欄 ～ に当てはまる適切な語句を以下の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 シューマン・プラン | 2 大西洋憲章 |
| 3 通貨改革 | 4 鉄のカーテン |
| 5 東西ドイツ基本条約 | 6 ドーズ案 |
| 7 西ヨーロッパ連合条約 | 8 農地改革 |
| 9 パリ協定 | 10 パリ条約 |
| 11 ベルリン封鎖 | 12 ベルリン暴動 |
| 13 ポズナニ暴動 | 14 マーシャル・プラン |
| 15 マーストリヒト条約 | 16 リスボン条約 |
| 17 労働改革 | 18 ローマ条約 |

世界史

問4 文中の空欄 ～ に当てはまる適切な語句を以下の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

[語群]

- 1 北大西洋条約機構(NATO)
- 2 経済協力開発機構(OECD)
- 3 経済相互援助会議(コメコン)
- 4 コミンテルン
- 5 全欧安全保障協力会議(CSCE)
- 6 全欧安全保障協力機構(OSCE)
- 7 ヨーロッパ経済共同体(EEC)
- 8 ヨーロッパ経済協力機構(OEEC)
- 9 ヨーロッパ防衛共同体(EDC)
- 10 ワルシャワ条約機構

問5 下線部(2)についての説明として間違っているものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a この国境は、オーデル川とその支流のナイセ川に沿っているため、オーデル＝ナイセ線と呼ばれている。
- b 東ドイツは、この国境が自国の領土の縮小につながるため、承認しなかった。
- c この国境は、1938年時点でのポーランドとの国境を西に移動して設定されている。
- d 西ドイツは、この国境を1970年のポーランドとの国交正常化条約締結まで承認しなかった。

問6 文中の空欄 に当てはまる政治家の名前を解答欄に記入せよ。

問7 文中の空欄 ア ～ ウ に当てはまる政治家の名前を以下の人名群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

[人名群]

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1 アデナウアー | 2 アンドロポフ | 3 ヴァイツゼッカー |
| 4 エリツィン | 5 キージンガー | 6 コスイギン |
| 7 コール | 8 ゴルバチョフ | 9 シュミット |
| 10 チェルネンコ | 11 ブラント | 12 プレジネフ |

問8 下線部(3)の説明として正しいものを以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 米ソ間で核軍備管理がすすみ、核戦争の危機が緩和された。
- b デタントのことで、アメリカとキューバ間の緊張が緩和された。
- c 雪解けと呼ばれ、ソ連社会内の国民生活の統制が緩和された。
- d 社会主義建設の方針をめぐる中国とソ連との対立が緩和された。

問9 下線部(4)の説明として正しいものを以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 先進主要国はこの頻発する国際通貨危機のために固定為替相場制を維持できず、変動相場制に移行した。
- b ドル危機はアメリカが貿易収支の大幅な黒字を重ねたことから頻発した。
- c ニクソン大統領がドルの金兌換を維持する目的で大量の金を購入したことが、ドル危機をまねいた。
- d 頻発する国際通貨危機によって国際通貨基金(IMF)は活動を停止し、廃止された。

世界史

問10 下線部(5)についての説明として間違っているものを以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 第1次石油危機は、第4次中東戦争の際にアラブ石油輸出国機構がイスラエルの友好国に対して禁輸措置、あるいは輸出制限措置をとったことから始まった。
- b 第1次石油危機によって石油価格が高騰したため、石油輸入国に大インフレーションと好況が生じた。
- c 第2次石油危機は、産油国イランで発生した革命を契機に中東産油国が行った石油減産と価格引き上げによって引き起こされた。
- d 第2次石油危機によってふたたび石油価格が高騰したため、輸入原油に依存する国々の経済は産業構造の転換を迫られた。

問11 下線部(6)についての説明として正しいものを以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a グラスノスチのことで、言論統制を目指して報道の検閲を強化した。
- b ソ連解体のことで、連邦構成共和国はそれぞれ独立して独立国家共同体(C I S)に加盟した。
- c 立て直しの意味で、経済活動の自由化や政治の民主化等、幅広い改革を進めた。
- d 共産党一党支配強化のことで、ソ連に大統領制を導入した。

問12 下線部(7)についての説明として正しいものを以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 東ドイツでは、ホーネッカー書記長が国民の支持を得て市場経済の導入を実行した。
- b ポーランドでは、「連帯」の指導者ワレサがポーランドの計画経済を強化した。
- c ルーマニアでは、チャウシェスク大統領が改革を指導し、民主化を実現した。
- d チェコスロヴァキアでは、ハヴェルが流血なしに共産党指導部を退陣させ、改革を実行した。

問13 下線部(8)を行った政治家の組み合わせとして正しいものを以下の a～f から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a レーガンとゴルバチョフ
- b レーガンとエリツイン
- c ブッシュ(父)とゴルバチョフ
- d ブッシュ(父)とエリツイン
- e クリントンとゴルバチョフ
- f クリントンとエリツイン

問14 文中の C ・ D ・ E に当てはまる年号の組み合わせとして適切なものを以下の a～f から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1989年－1990年－1990年
- b 1989年－1990年－1991年
- c 1989年－1991年－1991年
- d 1989年－1991年－1992年
- e 1990年－1991年－1991年
- f 1990年－1991年－1992年